

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	国立医薬品食品衛生研究所施設整備経費	担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和21年度	担当課室	総務部会計課	渡邊 裕一			
会計区分	一般会計	施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	「多極分散型国土形成促進法」に基づく「国の行政機関等の移転について」の閣議決定(昭和63年)	関係する計画、通知等	「国の庁舎等の使用調整等に関する特別措置法第5条」に基づく「東京23区内に所在する庁舎移転・再配置のための単独庁舎」特定国有財産整備計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	・昭和63年の閣議決定に基づき、平成26年度末に世田谷区上用賀から府中市へ移転するため、具体的な研究所の環境整備、建物計画、工事費の概算等を決定し、必要となる工事等を行うことを目的とする。 ・老朽化の著しい既存施設について、良好な研究環境を確保するため、施設整備を行うことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・平成26年度末の府中移転を目指して、現況交通量調査、生態系調査、建築基本条件書の作成、府中住民への説明、風評被害調査、府中基地跡地の解体撤去工事、文化財調査、府中市や周辺住民代表者との安全協定締結に向けた協議を行う。 ・老朽化の著しい既存施設について、良好な研究環境を確保し、研究機能を維持するための施設整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	1216	349	9	97	1,987
		補正予算					
		繰越し等	△ 961	1188			
		計	255	1536	9	97	1,987
	執行額	232	160				
執行率 (%)	91%	10%	0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	施設の整備に係る経費であるため、定量的な成果目標を設定することはできない。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	施設の整備に係る経費であるため、定量的な活動指標を設定することはできない。	活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
単位当たりコスト	—	算出根拠		—			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	施設施工旅費	0.5	13	東日本大震災復興関連事業(要求1,745百万円)			
	施設施工庁費	0.6	57				
	施設整備費	96	1917				
計	97	1987					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	－	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成22年度においては、府中市への移転におけるPFI方式実施の場合のアドバイザー経費を計上していたが、研究所のニーズ特性から性能発注に限界があり、コスト削減の効果が限定的になること等の理由から、PFI方式を実施することを中止したため、不用が生じたところである。</p> <p>今後も移転に必要な経費を要求し、移転計画を推進させるとともに、研究業務を停滞させることがないよう必要な施設の整備を行い、研究機能を維持させていく必要がある。</p> <p>なお、経費の執行にあたっては、執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、適正な執行に努めることとする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>国立医薬品食品衛生研究所施設整備経費について、平成22年度は特殊事情により、計画の見直しを余儀なくされたため不用が生じているが、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					